

第二次南部町総合計画スタートシリーズ①

平成27年度から36年度までの十年間の町政運営指針となる「第二次南部町総合計画」が町議会の審議を経て成立し、その初年度がスタートしました。

総合計画とは、将来を見通した長期にわたる町づくり計画で、町の諸施策の基本となります。

総合計画をシリーズでとりあげ、町の取り組みをお伝えします。

町の現状と課題

【人口減少】

全国で人口減少が進み、地域の衰退が問題になっています。下表の将来人口推計では、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減り続け、老年人口（65歳以上）が増えていく状況が続きますが、平成37年度には65歳以上の人口も減少に転ずると予測しています。

こういった人口減少と人口構成の偏りは、町の活力低下を招くとともに、活力の低下が人口減少に拍車をかけ、地域コミュニティ機能の低下という深刻な問題につながります。

人口減少を抑制し、コミュニティ機能を維持していくためには、若者の定住化対策や少子化対策が喫緊の課題となっています。

【南部町の将来人口推計】

	総数(人)	年齢(3区分) 別人口(人)			割合(%)		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成22年	9,011	879	5,094	3,038	9.8	56.5	33.7
平成27年	8,102	723	4,270	3,109	8.9	52.7	38.4
平成32年	7,322	575	3,587	3,160	7.8	49.0	43.2
平成37年	6,597	474	3,017	3,106	7.2	45.7	47.1

注：平成22年は、国勢調査実績値

資料出所：国立社会保障・人口問題研究所『日本の市区町村別の将来推計人口（平成25年3月推計）』

若者が町外に転出する原因は、町内に多様な就労先がないこと、町外就労先への通勤が不便であることなどが挙げられます。就労先確保のための企業誘致や国道・県道改良による利便性の向上が必要です。

少子化対策としては、これまでの経済支援に加え、子育て世代のニーズを的確に捉えた環境整備が求められます。

【防災・災害対策】

近い将来発生することが予想される広域地震災害への備えは、ハード・ソフト両面で進めるべき重要課題です。広域災害では、すべてのライフラインが長期間途絶することを想定する必要がある、そういった事態に多種多様な対応が組織的に機能することが肝要です。自助・共助・公助の役割を明らかにし、分担するためには、町ぐるみで取り組む必要があります。ここでも人口減少と高齢化が共助機能の脆弱化といった問題を投げかけています。

【空き家・荒廃山林農地】

人口減少によって空き家や荒廃農地が景観悪化や防犯上の問題として顕在化しています。都市住民との交流による利活用をはじめ、新たな発想による対策が求められます。また、林業の低

迷による森林荒廃も懸念されます。森林が町の大部分を占める本町にとって、森林から享受する水と緑、防災機能に注目し、その機能維持と活用について積極的に取り組む必要があります。

その他、生活環境や産業、健康・福祉、教育・文化など取り組むべき課題は多岐にわたります。

総合計画では、これらの課題について6項目からなる基本構想を掲げ、その具体策として基本計画を示しています。次ページが計画のフロー図です。

国の対策

一方、国は、全国的な人口減少と地域経済縮小を極めて深刻な問題として捉え、昨年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少克服と地方創生に取り組み始めました。同時に全国の自治体に対し地方版総合戦略の策定と取り組みを求めており、本町も地方創生に関する先行型事業と戦略策定に着手しました。戦略は、平成27年度から31年度までの5カ年計画で、総合計画の前半5カ年と重なります。総合計画を土台に、地方創生につながる事業について数値目標を設定した戦略を策定し、施策を実施していきます。

第2次南部町総合計画(平成27年度～36年度)

施策の大綱 (基本構想)

基本計画

自然と調和した 町づくり

- | | |
|---------------------|--|
| 1.総合的な定住環境の整備 | 1.住宅 |
| 2.自然環境と調和した社会基盤整備 | 1.水道
2.汚水排水
3.環境美化
4.環境衛生
5.地籍調査
6.自然保護
7.公害 |
| 3.山梨の玄関にふさわしい町並みの整備 | 1.景観
2.公園・緑化
3.土地利用 |

資源活用と 交流による 魅力づくり

- | | |
|--------------------|------------------|
| 4.自然と歴史資源を生かした観光振興 | 1.観光 |
| 5.魅力ある農業の推進 | 1.農業 |
| 6.豊かな森林資源の活用 | 1.林業 |
| 7.広域道路網の整備による産業振興 | 1.工業
2.新エネルギー |
| 8.商店の活性化 | 1.商業 |

やさしさを育み 生きがいを持てる コミュニティづくり

- | | |
|----------------|--|
| 9.多様なコミュニティの形成 | 1.コミュニティ |
| 10.医療・保健の充実 | 1.地域医療
2.健康 |
| 11.福祉の充実 | 1.児童福祉
2.高齢者福祉
3.地域福祉
4.障害者福祉
5.母子・父子福祉、生活保護世帯福祉
6.社会保障制度 |

安心して暮ら せる町づくり

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 12.生活道路網の整備 | 1.生活道路 |
| 13.広域道路網の整備 | 1.広域道路 |
| 14.防災・災害対策、消防・救急対策の充実 | 1.防災・災害対策
2.消防・救急 |
| 15.防犯・交通安全対策の充実 | 1.防犯・交通安全 |
| 16.消費生活の充実 | 1.消費生活 |
| 17.地域情報化の推進 | 1.地域情報化 |

郷土愛を持つ 人づくり

- | | |
|----------------------|--|
| 18.地域に根差した教育・学習活動の推進 | 1.学校教育
2.生涯学習
3.生涯スポーツ・レクリエーション活動
4.青少年 |
| 19.新たな社会規範の構築 | 1.男女共同参画社会 |
| 20.地域文化の継承、創造 | 1.文化、芸術
2.文化財、郷土芸能 |
| 21.地域情報の発信、交流促進 | 1.交流 |

行政の効率化 の推進

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 22.健全な財政運営 | 1.財政改革 |
| 23.スリム化した行政運営 | 1.効率的な行政運営 |
| 24.情報公開と住民参加の促進 | 1.情報公開の推進
2.住民参加の促進 |

町の将来像

施策(大きな課題)

具体的な課題

予算付け

事務事業⇨解決手段↓どれだけ解決したのか↓どれだけ有効な手段だったのか

確認と共有

次年度方針